

# Umbrellaコネクタサービスに GetConnector.batを使用する

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[GetConnector.batについて](#)

[スクリプトの実行](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、GetConnector.batを使用してUmbrella Connectorサービスの情報収集を行う方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## GetConnector.batについて

GetConnector.batは、トラブルシューティングの目的でUmbrellaサポートに役立つ情報を収集するバッチスクリプトです。Umbrella AD Connectorサービスが既にインストールされているシステムでのみ直接実行できます。

収集した情報は、お客様自身またはUmbrellaサポートのいずれかによるトラブルシューティングに使用できます。

次の情報が収集されます。

- ホスト名
- 日付と時刻
- Systeminfo出力
- タスクリスト
- ipconfig /all
- ipconfig /showdns
- 実行中のサービスのリスト
- Netstatの出力
- api.opendns.comへのtracert結果
- デバッグEDNS応答を取得するためのDNSルックアップ
- gpresult ( 結果としてのグループポリシー )
- 既存のコネクタAD Syncフォルダの内容 ( 実行中の内容を表示するため )
- 最新のADユーザおよびグループメンバーシップ情報 ( 実行コンフィギュレーションとの比較 )
- すべてのコネクタログ
- すべてのコネクタ構成ファイル
- OpenDNS\_Connectorグループメンバーシップ情報

## スクリプトの実行

添付されたテキストファイルをダウンロードし、拡張子を「.txt」から「.bat」に変更します。

次に、管理者ユーザが開始したコマンドプロンプトウィンドウにドラッグします。二重拡張子には注意してください。誤って「.txt.bat」という名前を付けないでください。

スクリプトは初期情報を収集し、ADを照会するためにADサーバのIPの入力を求めます。次に、画面上のプロンプトを完了するだけです。



注:OpenDNS\_Connectorユーザのパスワードを画面に表示しない場合は、「\*」と入力します。その後、パスワードの入力を4回求められますが、画面にはマスクされます。

---

スクリプトの実行には数分かかります。完了したら、「C:\OpenDNS\_Diagnostic.zip」でファイルを見つけて、Umbrellaサポートに電子メールで送信できます。.zipファイルを送信する前にファイルの内容を確認するか、セキュリティを向上させるためにパスワードを追加してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。